

コミュニティ・スクールだよりNo.6

学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

H27.12.21 国見学園コミュニティ・スクール委員会（事務局：学校教育課 ☎585-2892）

1月のよ～むのつく日の1日は、テレビを消して、ゲームをやめて、家族みんなで本を読む時間を作りましょう

「家読」とは、「家庭読書」の略語で、「うちどく」と読みます。家庭での読書を習慣化することで、現代の子どもたちの課題ともいわれるメディア依存を解消することが期待されます。もちろん、学力においても国語だけでなく全ての教科で良い影響が見られることが分かっています。さらに、読書を通じて感じたことや考えたことを話し合ったりすれば、家族間のコミュニケーションを深めることにもつながります。

この「家読」は、現在、国見小学校において先進的に取り組まれています。来年1月を「家読推進月間」とし、「国見学園」として保育所・幼稚園・小学校・中学校が共通実践することで、国見っ子の読書の習慣化を図っていきたいと思います。

📖📖📖 「家読(うちどく)」のすすめ方 📖📖📖

- ① 家族で「家読の日」を決める。(その日は「ノーテレビ・ノーゲームの日」にもなります。) 1月4日(月)～6日(水)のうちの1日、1月14日(木)～16日(土)のうちの1日、1月24日(日)～26日(火)のうちの1日。(1月で合計3日決めてください。)
- ② 家族で「わが家の家読スタイル」を決める。 家族で同じ本を読む、子どもが大人(その反対も)に読み聞かせる、最低1時間読む、家族で図書館に出かけ本を借りるなど。
- ③ 家族で「読む本」を決める。
- ④ 家族で読んだ本について話す。
- ⑤ 家読の記録を残す。



読んだ本について、家族で質問したり、感想を述べ合ったりする時間を作ることが大切です。

なお、これは、すすめ方の例ですので、家族のスタイルに合わせ、また、子どもの発達段階に応じて各家庭で工夫してみましょ。できることから始めてみましょ。

📖📖📖 「家読(うちどく)」を地域ぐるみで進めましょ 📖📖📖

家読は家庭での実践となりますが、学校・園・所と国見学園コミュニティ・スクール委員会、町の図書館、教育委員会などが連携すれば、効果的に家読を推進することができます。さらにこの連携を基盤として「読書によるまちづくり」への発展が期待できます。例えば

各学校では、「家読の日」を学校だよりなどで呼びかける、記録カードを提供する。

町の図書館では、「家読おすすめの本コーナー」を設置する、子ども司書を育成する。

コミュニティ・スクール委員会では、「推進月間」設定する、アンケートで評価する。

などが考えられます。

先日お配りしたリーフレット「国見学園をつらぬく柱」の実践事項の一つでありますので、みなさまのお力添えをよろしくお願いたします。

2016 国見学園コミスクカレンダー

1月（家読推進月間）

①～国見小学校 ②～県北中学校 ③～くにみ幼稚園

④～藤田保育所 ⑤～生涯学習課事業

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4 ★家読の日① ④保育始	5 ★家読の日①	6 ★家読の日① ④ひろばニコニコ 子ども移動図書館	7	8 ③④⑤始業式	9 ④子ども司書講座
10 ④成人式	11	12 ④行政出前授業	13 ④移図 ④イキイキ子育て ④弁当日・食育教室 ④百マス（かけ算）	14 ★家読の日② ④食育教室	15 ★家読の日② ④英語活動 ④児童集会	16 ★家読の日② ④アンサンブル県大会 ④子ども和楽器教室
17	18	19 ④移図 ④避難訓練 ④食育 ④百マス（たし算） ④期末テスト	20 ④ひろば ④食育 ④誕生会・弁当日 ④期末テスト	21 ④移図 ④誕生会 ④食育教室 ④租税教室	22 ④内科検診 ④全校集会	23 ④子ども司書講座 ④子ども和楽器教室 ④わんぱく広場
24 ★家読の日③	25 ★家読の日③	26 ★家読の日③ ④百マス（ひき算）	27 ④イキイキ子育て ④説明会・体験入園 ④スペリングコンテスト	28 ④移図 ④ブックスタート	29 ④保育参観・説明会 ・保護者会総会 ④音楽集会	30 ④子ども和楽器教室
31						

